



岡山県高P連会報

第71号

contents

高P連会長挨拶・岡山県指導者研修会報告	1
PTA活動紹介	2
幼小中高PTA研修大会	5
シンボルマーク・西日本豪雨災害	6
2019年度行事予定・県育英会東京寮寮生募集	6
県教育委員会からのお知らせ	7
生徒総合補償制度のご案内	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
事務局 〒700-0824 岡山市北区内山下1-14-19
TEL 086-234-1640 / FAX 086-234-1835
URL <http://www.okayama-koupren.jp>
E-mail okayama_koupren@ybb.ne.jp

『平成最後に想う』

岡山県高等学校PTA連合会会長
(県立岡山大安寺中等教育学校PTA会長)

福岡 隆



まず、皆様にご報告させて頂きます。岡山県高等学校PTA連合会として、昨年の西日本豪雨災害の被災高校生645名に会の資産より、約2,900万円を支援金としてお渡しさせて頂きました。また、全国高等学校PTA連合会においても「西日本豪雨災害義援金」募集活動が行われ、本県でも多数の学校から義援金が寄せられました。岡山、広島、愛媛の3県で受け取り、この内、岡山県として、総額約1,600万円を各高校へお渡しさせて頂きました。

この災害で、生徒も私たちも平凡な日常生活がどれだけあったか、いことなのかと再認識出来たのではないのでしょうか。被災された地域はまだまだ日常生活がおぼつかない状況です。被災されました生徒、ご父兄の皆さまの一日でも早

い復興をお祈りいたします。

昨年よりPTAに携わる様々な講演会や会議、研修会に参加させて頂く機会を得ました。そこで高校生の持つ様々な問題を再認識させて頂くことが出来ました。しかしながらこれで解決出来るという特効薬は流石にありませんでした。私たちもおそらくそうだったように高校生の頃は「べつに」「うるせえ(現在はうぜえ)」「ムカつく」の3単語を自由に使いこなす反抗期絶好調モンスターと化してしまします。モンスターと対等にも戦おうとしても素手の人間ではとても敵いません。でも私たち親には必殺技の愛情光線があります。うっとうしがられても、忍耐強く子供を信じ、気に掛けて、話し掛けるようにすることが全ての解決策に至る近道ではないかという結論に至ってしまします。私たち親もどつしりと構えて頑張りましょう。これで少なくとも大きな事件からは遠ざけることが出来るように思えます。どうぞお子様をしつかりと見守って下さい。

平成の時代が終わります。これから来る新しい時代は子供たちに

とってどのような希望が持てる時代になるのでしょうか。もっと先の希望を持てるように私たち親はどのようなお手伝いが出来るのかしっかりと考えて発信させて頂くつもりです。

文末になりましたが、この1年間PTA活動にご尽力頂きました高校の先生方、役員の皆様本当にありがとうございます。深く感謝いたします。新しい時代もPTA活動に変わらぬご支援、ご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

岡山県高等学校PTA指導者研修会

平成30年11月6日(火)、ピュアリティまきびにおいて、県教育委員会と共催で、134名が参加し研修会を開催いたしました。

まず、県教育庁からの行政説明があり、高校教育課からは、「消費者教育の推進」、人権教育課からは「人権教育の推進について」、生涯学習課からは「集い、つながり、学び合うPTA活動」のテーマで話されました。

次に、家族や教育問題、児童虐待や青少年のインターネット利用などをテーマに、豊富な取材実績を基に講演活動をされている、ジャーナリストの石川結貴氏を迎

P T A 活動の紹介

え講演がありました。「高校生のスマホ利用率が99.8%に達し、7人に1人がネット依存症となっており、動画視聴やSNSをやめられない子どもが増えている。」とのショッキングな紹介から始まり、その上で「親の無関心等により居場所のない子どもが増えている。ネットの世界は変化が激しいので、わからないことは、大人も子どもと一緒に調べてみてください。」との助言がありました。



〔石川結貴氏〕



〔情報交換〕

その後、参加者が少人数のグループに分かれて、各PTAでの特色ある取組や、活動する上での課題などについて話し合い、よりよいPTA活動になるよう活発な情報交換が行われました。他校の活動を熱心に聞き入る参加者の皆様の向上心の高さに大変感心いたしました。

県立岡山一宮高等学校

本校は創立39年を迎え、「自主自立」「文武不岐」の校風のもと「フロンティア精神」という伝統を受け継ぎ、学習や部活動、課題研究などを活発に行っています。普通科と理数科を併設し、3期にわたるスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、科学技術イノベーション人材の育成に力を入れてきました。



〔PTAバザー〕

さて、本校の一大イベントである「銀杏祭」文化の部では、PTA役員が中心となり、評議員有志と協力してパンやおにぎり、ジュース等の販売を行っています。例年千人を超える来場者が訪れ、生徒たちの模擬店だけでは足りないため保護者の協力を得てバザーを開いています。子どもたちと触れ合う数少ない機会であり、楽しみな取組です。今年は時折強い雨の降るあい



〔MFT Chorus〕

への出演を目標に練習を行っており、保護者OBも継続して学校の活動に参加してくれる取り組みとなっています。

にくの天候となりましたが、大勢の保護者の方々に協力をいただき無事実施することができました。収益は、学校と西日本豪雨災害への募金としました。

また、保護者の思いが少しでも子どもたちに届くようにと、センター試験への激励の思いを込め、3年生全員へ携帯カイトを配布、また新入生には、岡山一宮高校入学への歓迎の思いを込め、校歌のプリントされたクリアファイルを配布、卒業生にコサージュを贈るなどの取り組みを進めています。

本校では創立30周年記念式典をきっかけに始まったPTA合唱団『MFT Chorus』が活動を続けています。文化祭や吹奏楽部定期演奏会である「銀杏コンサート」

県立瀬戸高等学校

これからも保護者と学校が協力して、子どもたちの活動を支援するPTA活動を行っていきたいと考えています。

本校は、明治42年創立の瀬戸実科女学校を前身とし、今年度創立110年を迎える歴史と伝統ある高等学校で、卒業生は2万人を超え、学術・政治・経済・行政・教育等あらゆる分野で活躍しています。



〔あいさつ運動（校門前）〕

東備学区の普通科高校として、3学年13クラス（生徒数約480名）の理想的な規模の学校で、緑豊かな自然の中であり、落ち着いた雰囲気の中で、楽しく勉学や部活動に励んでいます。

地域に根差した学校の証として、保護者にも瀬戸高出身の方が多くいます。

毎年9月に開催されます瀬戸高文化祭では、PTAで模擬店を出店し、焼きそば・カレーライス・

運動は月 1 回行われていますが、この他にも 12 月 19 日には PTA 役員が校門前のあいさつ運動に参加し、生徒会や先生方と一緒に生徒の皆さんに元気なあいさつを届け



〔被災地支援〕

あいさつ運動を行いました。金活動も兼ねたあいさつ運動を行いました。

フランクフルト・バザーなど運営しています。焼きそばのコンロや道具一式、大きい鍋、バザーの品物など、瀬戸校 OB の方が用意して下さり、当日のお手伝いから、調理の指導まで、自然発生的に OB や地域の方が集まって、和気あいあいとした雰囲気の中で文化祭を盛り上げています。またその収益金で、瀬戸高祭・体育の部で飲料水を生徒たちに配布、1、2 月に開催されるウォーキング大会では頑張った生徒たちに豚汁を振る舞っています。

その他の活動として、この度の西日本豪雨に際し PTA でのイベントに備蓄していたミネラルウォーターを被災地に支援物資として提供を行いました、また 7 月 20 日には生徒会と共同で、瀬戸駅前募金活動も兼ねたあいさつ運動を行いました。

さて、本校の PTA 活動は、交通・補導・広報の各委員会に分かれて行っています。交通委員会では、延べ 7 回通学時間帯に合わせ、通学路の各ポイントに立ち、



〔PTA 評議員会〕

7 モデルに分かれ勉学に勤しむとともに、部活動やボランティア活動などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

本校は、倉敷市の南部、児島地区に位置する全日制の高等学校です。全国で唯一の未来創造科というユニークな学科を持っています。全校生徒約 680 名は、それぞれの進路希望によって、普通文系・普通理系・人文国際・食物栄養・福祉保育・体育・ビジネスの

県立倉敷鷲羽高等学校

生徒の健やかな成長と学校の発展の為に、8 名の役員を中心に、学校とのコミュニケーションを密にし、これまで通り瀬戸高校らしく風通しの良い、保護者自身も楽しむ PTA 活動を行っています。

本校は、平成 49 年開校の普通科高校で、グローバル時代に活躍

県立倉敷南高等学校



〔龍王祭飲料販売〕

これから学校と生徒をつなぐ役割を果たし、生徒のいろいろな活動を支援していきたいと考えています。

生徒への声かけ活動をしています。補導委員会では、定期的な列車補導や、夏休み中の土曜夜市・夏祭りの補導を行っています。広報委員会は、夏・秋の学校説明会の準備及び運営に協力しています。また、年 2 回 PTA 新聞『鷲つばい』の編集・発行を行っています。

また、9 月には龍王祭（倉敷鷲羽高校の文化祭・体育祭）があり、8 月下旬から生徒たちは準備を始めます。PTA も文化祭でのバザーや体育祭での飲料水、パンの販売を行っており、PTA 役員や評議員が運営に当たります。地元のためにも販売しており好評です。



〔鞆岡祭バザー〕

さて、このように素敵な生徒を応援すべく、私達 PTA では、鞆岡祭バザーでカレー、うどん、たこ焼きなどを販売しています。今年度は台風のため順延となりましたが、評議員の皆さんのご協力により、無事に終了することができました。

できる人材育成に力を注いでいます。ニュージージラランドのカシミア高校と姉妹校締結し、今年度は 16 名がホームステイを体験しました。また、倉敷市立鞆岡小学校や倉敷市立倉敷支援学校との交流により、自分の身近な多様性を認め、他者と共に生きる心を育んでいます。平成 30 年 7 月の豪雨災害では、本校も 15 名の生徒が床上以上浸水となりましたが、OB 有志により、いち早く教科書や学生服などが届けられました。生徒会では募金活動を行い、ボランティアに参加した生徒もいました。このような、他者の苦しみをごとせず、自分に何ができるか考え、行動できる精神は、本校のキャリア教育によって培われたものだと思います。

して、毎年バザーの収益金で、卒業生の胸元を飾るコーサージュをPTA有志が集まり、手作りしています。



〔視察研修〕

このほかにも、登校時のあいさつ運動やPTA視察研修など、生徒を支援し、保護者同士の交流を深めるための活動をしています。

県立笠岡商業高等学校

本校は、岡山県の南西部、笠岡市の中心部に位置する創立117年目を迎えた商業高校です。約400名の生徒が在籍しており、自らの希望によって2年生から商業科、情報処理科に分かれます。全商情報処理検定、全商簿記実務検定などの様々な資格取得に向けての学習や、課外活動に励んでいます。

さて、本校のPTA活動ですが、「大人も楽しむ。」をモットーに、役員同士が仲良く楽しみながら活動しています。主な活動としては、二大行事があります。二大行事とは、体育祭と文化祭のことです。体育祭では、ペットボトル飲料水

の販売を行います。販売品目を決め、約千本の飲料水を販売します。役員やボランティアの方の力を借りて、販売を行いました。

文化祭では、PTAの出店もあり、体育祭より一層盛り上がります。役員全員が一丸となり、バザーの準備から販売までを行います。焼きそば、フランクフルト、カレーなど、8品を各ブースに分かれて販売します。生徒に負けないように、大きな声で販売し、見事に完売しました。また、普段は見ることのできない生徒たちの様子も間近で見ることができ、とても有意義な一日でした。保護者の方々も楽しんでいらっしゃる様子が見られ、良い文化祭ができたと思います。

これからも、生徒だけでなく、保護者の皆様にも楽しんでいただける行事にすべく、PTA活動に邁進していききたいと思います。

〔文化祭
バザー〕

県立総社南高等学校

本校は、昭和61年に5類型を持つ全県学区の全日制普通科として設立され、現在は全学年7クラス、832名の生徒が在籍しています。生徒一人一人の個性や興味関心を大切にして、自分の進路にあった類型（人文・理数・国際・美術工芸）を選択でき、創造性豊かな個性を伸ばす事ができる所が特色です。

PTA活動は、大きく分けて3つです。南翔祭でのカレーや飲み物の調理と販売、大学訪問研修会日帰りバス旅行、PTA新聞作りです。〔JAMIPTA喫茶一休さん〕では500食のカレーと飲み物を、PTA役員を筆頭に有志の保護者やOBの役員の方と共に作り、販売します。カレーの材料は、牛肉とカレー粉のみ購入すれば後は寄付で賄えています。更にあり

余ったお米で頑張ってきた3年生全員に塩むすびを握って、教室へコッソリとプレゼントしています。



〔JAMIPTA 喫茶一休さん〕

す。また、友愛セールバザーも同時に開催し、売上は全額会計に寄付し、学校の運営に有効に活用していただいています。

大学訪問研修会は、保護者や先生方との交流の場として、観光も織り交ぜて楽しいバス旅行となるよう計画していますので、毎年大勢の方が参加しています。年1回のPTA新聞は、1年間の行事をギュッと詰め込んで12月に発行しています。

〔南翔祭〕
〔塩むすび 3年生への
プレゼント〕

今後とも生徒と学校の架け橋となれるよう一層充実したPTA活動を行っていききたいと思います。

県立勝間田高等学校

専門教育を担う勝間田高校は、1901（明治34）年4月に開校し創立117年を迎えた県北東部の伝統校です。2005（平成17）年には日本原高校との再

編により 4 学科で再スタート、2019（平成 31）年 4 月には現 3 学科が総合学科 7 系列となり、地域の各分野で活躍する人材の育成を目指す専門高校へ生まれ変わります。

さて、勝間田高校 PTA 役員は、会長以下の本部役員 8 名と各クラスから選出された補導・学級委員 18 名で構成されています。ありがたいのは、PTA 活動に参加する保護者が毎年増えていることです。



〔心を磨くトイレ清掃〕

その主な活動は、まず 5 月に実施する「心を磨くトイレ清掃」があります。生徒・先生・保護者の有志約 40 名が、講師の「岡山掃除に学ぶ会」の方から、清掃を通して自分自身を磨くことの大切さを学びます。この学びを生かし、生徒や先生方と実施する「あいさつ・マナー運動」で JR 勝間田駅やバス停・周辺道路の清掃活動を行い、地域の環境美化に取り組んでいます。11 月中旬の「清風祭文



〔清風祭 ふれあい祭〕

化の部・ふれあい祭」では、多くの役員の方が参加して模擬店を開き、今年度はうどんとチーズドッグを販売しました。販

売と同時に多くの来場者が温かいうどんに舌鼓を打ち、今年をはじめて販売したチーズドッグもあっという間に完売してしまいました。PTA 活動の楽しさは、学校の運営に関わり、生徒や先生方と接することで学校への理解が深まる場所だと思います。これからも、勝間田高校を一層盛り上げる PTA 活動に取り組んでいきます。

岡山県幼小中高 PTA 連合会 連絡協議会 第 37 回研修大会

平成 31 年 1 月 23 日（水）岡山シンフォニーホールにおいて「豊かな心と確かな学びで子どもたちの生きる力を育もう」を大会テーマに、県内の各学校から約 2 千名の保護者・教職員など教育関係者が一同に集まり研修会が開催され、高 P 連からは 600 名が参加しました。まず神田会長（県 P 連会長）が「学校・家庭だけでの子育てには限界があり地域を含めた社会全体での子育てが必要、PTA の役割が重要になっていく」との開会挨拶に始まり、来賓祝辞で、伊原木知事から「PTA なしでの学校運営は考えられないが、共働き・ひとり親家庭など実情に合った P



〔開会式〕

TA 活動に勇気を持つて変えていく必要があるのでは」との提案があり、鍵本県教育長からは「スマホの利用や家庭学習の時間を増やすため、学校・家庭・地域の架け橋としての PTA の役割が重要、望ましい生活習慣確立のため支援していただきたい」などの要望がありました。

続いて中学生による活動発表があり、県立津山商業高校の女子生徒が、販売実習「津商モール」において、地元企業のバックアップ

の下、商品知識や販売のノウハウを用いて元気で親切・丁寧な接客をする様子や、近隣の一人暮らしの高齢者へ手作りの弁当を届ける、ボランティア活動「孫心（まごころ）弁当」の活動発表がありました。次に早島中学校の生徒が、地域の特産品「い草」を使った「IGUSA ラケット卓球大会」の開催や会社を起業し町内企業と連携してスイーツなどの商品開発に取り組むことにより、早島やい草の魅力の世界に発信しようと頑張っている発表がありました。

続いて脳科学者の茂木健一郎さんに「脳と学び・心と生きる力の磨き方」の演題で講演していただきました。「これからの人工知能時代には偏差値教育では測れないことが出てくる。100 人いれば 100 通りの個性の育て方が必要」、子どもの個性や多様性を重視する教育の大切さ



〔津山商業高校 活動発表〕

について話されました。

最後に、県高 P 連福岡会長の閉会挨拶で大会の幕を閉じました。

「シンボルマークの制定」

2020年に当連合会が創立70周年を迎えることから、会のイメージアップと会員の連帯感・志気の高揚を図るため、県内の高校生を対象にシンボルマークを募集し、198点の応募作品の中から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作6点を選定しました。その内、最優秀賞作品を当会のシンボルマークに決定しました。



〔最優秀賞〕岡山工業高校1年 安原一花さん
(作品の説明)

太陽と青空をイメージした色で描き保護者と教職員が手を携えるところを「P」と「T」の文字を繋げることで表しました。

「西日本豪雨災害」への対応

○岡山県高P連支援金の支給

昨年7月に起こった「西日本豪雨災害」により多くの方が被災されました。住宅被害に遭われた多くの高校生に対し、早期に日常の高校生活に戻れるよう支援金を支給しました。

支給人数 56校645人(全壊454人、半壊185人、学用品減失6人)

支給金額 28,866,500円

○義援金募集活動・義援金の支給

全国高P連の「西日本豪雨災害義援金募集活動」に賛同し募金活動を行い、県内の高校から792,575円の募金が寄せられました。全国高P連からいただいた募金14,838,317円と合わせて各高校へ配らせていただきました。ご協力ありがとうございました。

ー 2019 年度の予定ー

◆岡山県高等学校PTA連合会 総会

日時：平成31年6月19日(水)

場所：ピュアリティまきび

◆岡山県高等学校PTA指導者研修会

日時：平成31年11月19日(火)

場所：ピュアリティまきび

◆岡山県幼・小・中・高PTA連合会 連絡協議会研修会大会

日時：平成32年1月22日(水)

場所：岡山シンフォニーホール

岡山県育英会東京寮

寮 生 募 集



交 通：JR品川駅まで徒歩10分
寮 費：月額3万6千円(朝夕2食付)
応募資格：県内居住世帯で東京周辺の大学に
新入学予定の男子
問 合 せ：(公財)岡山県育英会
☎(086)226-7598

第61回中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会 鳥取大会

日時：7月12日(金)

場所：とりぎん文化会館 (鳥取市)



第69回全国高等学校 PTA 連合会大会 京都大会

日時：8月22日(木)・23日(金)

場所：勧業会館みやこメッセ

ロームシアター京都

※午後からの開催になります。



岡山県高P連でホテルを確保しています。また、「情報交換会」も予定していますので多数のご参加をお待ちしています。

– 7 –

生徒総合補償制度

(学生・こども総合保険)

特長

こんなときにお役に立ちます。

☆国内外を問わずさまざまなケガや賠償事故を補償

2019年度新1年生募集プラン

補償期間は2019年4月23日午前0時より2022年3月31日午後4時まで約3年間

保険金額と保険料

団体割引 15%適用

●保険金額はご加入いただいた被保険者の人数に従った割引率で決定されますので、募集の結果下記と異なる保険金額に変更される場合があります。この場合、死亡・後遺傷害保険金額を割引率に応じた金額とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

② 天災危険補償特約：地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガを補償

補償内容		補償タイプ		X 型	S 型	A 型	B 型
傷 害	死亡・後遺障害保険金額			139.0 万円	130.7 万円	124.4 万円	115.8 万円
	入院保険金日額 (1日につき) ※1	はじめの 7日間	はじめの 7日間	6,400円	6,000円	2,700円	2,000円
		8日目 以降	8日目 以降	3,200円	3,000円		
	通院保険金日額 (1日につき)	はじめの 7日間	はじめの 7日間	4,200円	3,400円	1,700円	1,000円
		8日目 以降	8日目 以降	2,100円	1,700円		
	「天災危険」補償 (地震等②)			○	○	○	—
	「細菌性食中毒および ウイルス性食中毒」補償			○	○	○	—
学資費用保険金額(傷害事故)※2				70万円限度	50万円限度	50万円限度	40万円限度
賠償責任保険金額 (記録情報限度額：500万円)				3億円限度	2億円限度	1億円限度	1億円限度
保 険 料 【3年分】				34,500円	29,500円	24,700円	16,700円
制 度 維 持 費 【3年分】				300円	300円	300円	300円
保 険 料 【3年分】 維持費合計 一時払				34,800円	29,800円	25,000円	17,000円

- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。
ご不明な点については、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは

引受幹事保険会社	引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店 岡山第一支社 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-225-0835 担当：中野・梅原 取扱代理店：MS岡山株式会社 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-221-2576	三井住友海上火災保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189 (無料)

事故は いち早く

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・こども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 岡山火災新種保険金お支払いセンター
TEL 086-225-9002 月曜日から金曜日(祝日除く) 9:00～17:00